

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	1	幼児教育・学校教育の充実
施策	①	幼児教育の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	幼小連携会議開催回数【単年】	目標値	回					2	2	
			実績値	回	0	0	1	1	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	0	2	4	評価		c	c	c	c		
	2	幼児教育研修会開催回数【単年】	目標値	回						2	2
			実績値	回	0	0	1	1	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
0	2	2	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	幼児教育5領域10の姿の達成度	目標値	%					60	60	
			実績値	%	50	50	50	50	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	83.3	83.3	83.3	83.3	0.0	0.0
	40	60	80	評価		b	b	b	b		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
活-2	コロナ禍の影響により、外部講師を依頼することができなかった。		コロナ禍の影響により、外部講師を依頼することができなかった。		幼児教育の研修に参加し学んだ内容で、研修会を行う事が出来た。		幼児教育の研修に参加し学んだ内容で、研修会を行う事が出来た。				
成-1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 保育士の確保と幼児教育に係る人材を育成する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	道内の保育課程があるすべての学校に対し保育士募集の案内を行ったが、令和6年度については応募につながらなかった。【児童係】園内研修を年8回(うち外部講習2回)実施したほか、オンライン研修に3名参加し、職員全体の質を高めることが出来た。【保育園・所】				
進捗状況と課題	今後も保育士の確保が困難になると見込まれるため、継続して保育課程がある道内の学校に対し保育士募集の周知を図っていく。【児童係】今後も園内研修等を行うことで、職員のスキルアップを図る必要がある。【保育園・所】				

＜継続的事業＞					
主な事業・取組	1. 各保育施設において、幼児教育の機会を提供する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	ひろお保育園・豊似保育所
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	「5領域10の姿」については本園の教育課程をもとに各学年、月案、週案を立案し、定期的にケース会議を設けて個を大切にしている。【保育園・所】				
進捗状況と課題	前年度に引き続き園内研修を実施し、オンライン研修も含む外部研修にも参加した。課題として研修を行う日時によっては参加出来ない職員もいたため、参加できなかった職員に対する情報提供や意見交換の場を設けていく。【保育園・所】				

主な事業・取組	2. 安心安全な保育・幼児教育施設の維持管理に努める			R6(2024)年度実績額	938千円
細事業名Ⅰ	遊具保守点検委託料	実		担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ	防犯通報システム委託料	実		担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅲ	グラウンド整備委託料	実		担当課	保健福祉課子育て支援室
R6(2024)年度実施内容	施設の各種保守点検の実施及び防犯通報システム導入等により、安心安全な保育・幼児教育施設の維持管理に努めている。【児童係】				
進捗状況と課題	安全安心な保育・幼児教育が提供できるよう、引き続き施設の維持管理に努める必要がある。【児童係】				

主な事業・取組	3. 幼児教育に対する保護者、地域の理解・協力する姿勢の醸成を図る			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	地域との交流事業	実		担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	保護者への情報発信として携帯アプリ「マチコミ」を利用し情報共有を行い、幼児教育への理解・協力をお願いした。また、世代間交流や地域の行事にも参加することで、地域の理解や協力への醸成を図った。【保育園・所】				
進捗状況と課題	「マチコミ」の活用により、保護者と情報が共有でき、幼児教育への協力が得られている。従来の世代間交流や地域の行事に参加することで、地域の理解や協力について引き続きお願いしていく。【保育園・所】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	子育て支援室長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	幼児教育の充実が図られるよう、職員の確保や研修等により現状の維持が保たれていることにより想定どおり進んでいると評価する。		
○	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	子育て支援室長
	A 有効であった	評価理由	園内研修や外部研修の充実により、職員の質の向上が図られていると判断され、概ね有効であると評価する。		
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

幼児教育の充実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C	C	C	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	1	幼児教育・学校教育の充実
施策	②	小中学校教育の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	小・中学校教職員の週の平均勤務時間(土日を含む)	目標値	時間					43	43	
			実績値	時間	42	42	40	41		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	
	44	43	42	評価		a	a	a	a		
成果 指標	1	全国学力学習状況調査における全国平均比(小学校 算数・国語の合計)	目標値	%					98	98	
			実績値	%	80.2	87.8	91.6	87.6		0	
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	81.8	89.6	93.7	89.4
	96	98	100	評価		c	c	c	c		
	2	地元から広尾高校への進学率	目標値	%					70	70	
			実績値	%	68	56	45	47		0	
現状(R1)			中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	97.1	80.0	64.3	67.1	0.0
65	70	75	評価		b	c	c	c			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
成-1											
成-2	広尾中学校卒業生:50人 広尾高校地元進学者:34人		広尾中学校卒業生:46人 広尾高校地元進学者:26人		広尾中学校卒業生:46人 広尾高校地元進学者:21人		広尾中学校卒業生:36人 広尾高校地元進学者:17人				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. コミュニティ・スクールの一層の推進と定着を図る				R6(2024)年度実績額	6,251千円
細事業名Ⅰ	広尾っ子応援団本部事業	実	3-1-②-1	担当課	社会教育課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	管理課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)広尾っ子応援団事業として、以下のとおり実施した。 CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動(メッセージ13通、発信12回)、放課後読書等ふれあい広場(60回実施)、学校支援(95回)					
進捗状況と課題	(Ⅰ)「ひろお学」の取組が始まり、地域人材・物的資源による行事が多くなっている。【社会教育係】 (Ⅱ)地域住民、保護者、教職員による学校運営協議会において活発な熟議が行われており、引き続き、地域一体となったより良い学校づくりを推進していく。【学校教育係】					

主な事業・取組	2. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る			R6(2024)年度実績額	589千円
細事業名Ⅰ	社会教育学級等開催事業	実	3-2-①-11	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	広尾町活き生きプロジェクト交付金(体験プログラム提供)	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)小学生を対象とした課外講座の中で、地元産業の体験講座を開催した。 (Ⅱ)未実施				
進捗状況と課題	(Ⅰ)継続して実施できるよう様々な分野の講座を検討する。【社会教育係】 (Ⅱ)産業団体と連携を図り、各学校等へ情報提供等を実施する。【企画防災係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 教諭の授業力の改善・向上のための取組を推進する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	授業力改善向上事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	北海道教育庁十勝教育局の指導主事による学校訪問を実施した。 実施回数: 広尾小学校 7回、豊似小学校 5回、広尾中学校 3回				
進捗状況と課題	指導主事による学校訪問を効果的に活用し、授業力や指導方法の改善・向上を推進していく。【学校教育係】				

主な事業・取組	2. 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を開催し、地域と一体になった特色ある学校づくりを推進する			R6(2024)年度実績額	6,828千円
細事業名Ⅰ	学校運営協議会運営事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ	広尾っ子応援団本部事業【再掲】	実	3-1-②-1	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)各学校の学校運営協議会を年4回開催した。 (Ⅱ)CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動(メッセージ13通、発信12回)、放課後読書等ふれあい広場(60回実施)、学校支援(95回)				
進捗状況と課題	(Ⅰ)地域住民、保護者、教職員による学校運営協議会において活発な熟議が行われており、引き続き、地域一体となったより良い学校づくりを推進していく。【学校教育係】 (Ⅱ)「ひろお学」の取組が始まり、地域人材・物的資源による行事が多くなっている。【社会教育係】				

主な事業・取組	3. 中高一貫教育を推進する			R6(2024)年度実績額	5,830千円
細事業名Ⅰ	中高一貫教育連絡協議会運営事業	実	3-1-②-5	担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	教科・分掌の研究協議、中高授業交流、出前授業、部活動・生徒会交流、公開授業、学力調査、Web講座受講料補助、資格検定料補助、模擬試験料補助、部活動支援補助、外部講師講習助成など				
進捗状況と課題	学力向上や希望する進路の実現等、個々が輝ける中高一貫教育を推進していく。【学校教育係】				

主な事業・取組	4. 学校施設やスクールバス、教材、設備機器などの維持管理や更新を適切に行う			R6(2024)年度実績額	179,419千円
細事業名Ⅰ	学校施設維持管理事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ	スクールバス運行事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅲ	教員住宅改修事業	実	3-1-②-6	担当課	管理課
細事業名Ⅳ	教材備品購入手業	実		担当課	管理課
R6(2024)年度実施内容	各学校施設保守管理委託・維持補修工事、スクールバス運行・維持補修、教員住宅改修・環境整備、教材備品購入・整備など				
進捗状況と課題	各取組について、効率的に実施している。今後、スクールバスの更新を検討する必要がある【総務係】				

主な事業・取組	5. 学校給食センター施設の維持管理や調理機器等の更新を適切に行い、給食の安全性を確保する			R6(2024)年度実績額	48,045千円
細事業名Ⅰ	学校給食センター厨房備品購入事業	実	3-1-②-7	担当課	管理課
細事業名Ⅱ	学校給食センター施設維持管理事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	老朽化した厨房機器等について、緊急性、重要性の高いものから順に更新したことにより、安心、安全な給食の提供及び施設の維持管理を図った。【給食センター】				
進捗状況と課題	以前から備品等を更新しており、概ね計画どおりに進んでいるが、点検時に異常がなかった更新の優先度が低い備品の故障や破損等が徐々に発生しているため、備品等の更新時期について注視する必要がある。【給食センター】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
管	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画どおり各事業を実施できた。（管理課長） ・当初の計画どおり各事業を実施できた。（給食センター所長） ・CSコーディネーターによる学校運営協議会への支援を予定通り実施できた。（社会教育課長） ・学校側へ積極的な働きかけができず、体験学習の充実を図ることができなかった。（企画課長） 		
社	B 想定どおりに進んでいる				
企	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
管	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の推進、十勝教育局指導主事による学校訪問の活用等、有効な取組を実施できた。（管理課長） ・老朽化や経年劣化による故障等の発生前に備品を更新したことで支障無く給食業務を円滑に遂行できたことから、事業の成果は概ね有効であると評価した。（給食センター所長） ・「ひろお学」を始め、CSコーディネーターを活用した側面的な事業を展開できた。各学校の連携を維持して、求められる支援をさらに充実させることとする。（社会教育課長） ・学校活動として行う場合、学習指導要領に沿うことが求められるため、計画において意図した内容と合わないことがあり、検討段階から学校側と十分打合せを行う必要がある。また、学校外での体験活動は様々な主体が類似の事業を行っていることから連携や情報共有を行うべきと感じた。（企画課長） 		
社	B 概ね有効であった				
企	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

小 中 学 校 教 育 の 充 実		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	3	一次評価（担当課の評価）					
	1	C	C	C	C		
	2	二次評価（主管者会議の評価）					
		C	C	C	C		
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
	C	C	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	1	幼児教育・学校教育の充実
施策	③	高校教育への支援と交流

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期達成状況	
活動指標	1	広尾高校を含めたコミュニティ・スクール連絡協議会(仮称)の設置数【累計】	目標値	組織	/	/	/	/	1	1	
			実績値	組織	0	0	0	0	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	1	1	評価		d	c	e	e		
	2	広尾高校町民応援体制の整備	目標値	—	/	/	/	/	整備済	整備済	
			実績値	—	整備済	整備済	整備済	整備済	0		
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—		
—	整備済	整備済	評価		a	a	a	a			
成果指標	1	地元から広尾高校への進学率(再掲)	目標値	%	/	/	/	/	70	70	
			実績値	%	68	56	45	47	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	97.1	80.0	64.3	67.1	0.0	0.0
	65	70	75	評価		b	c	c	c		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1					有効な施策とならないため、目標を見直す		有効な施策とならないため、後期の見直しの際に見直す				
活-2	CS協議会R2設置 広尾っ子応援団と連携		CS協議会R2設置 広尾っ子応援団と連携				CS協議会R2設置 広尾っ子応援団と連携				
成-1	広尾中学校卒業生:50人 広尾高校地元進学者:34人		広尾中学校卒業生:46人 広尾高校地元進学者:26人		広尾中学校卒業生:46人 広尾高校地元進学者:21人		広尾中学校卒業生:36人 広尾高校地元進学者:17人				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 広尾高校の魅力を高める取組を推進する			R6(2024)年度実績額	16,138千円
細事業名Ⅰ	広尾高校の魅力を高める取組の推進事業	実	—	担当課	管理課
細事業名Ⅱ	広尾高校生徒遠距離通学費等助成事業	実	3-1-③-10	担当課	管理課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	資格検定料の補助、模擬試験料の全額補助、大手予備校講習費等補助、WEB講座受講料補助、カナダ国際交流費補助、給食の提供、通学費補助、下宿費等補助、スクールバスの運行、部活動補助、講師等人材補助、進学助成金など				
進捗状況と課題	町内・近隣町村在住の中学生を中心に継続したPRを実施する。【学校教育係】				

主な事業・取組	2. 部活動の指導者(教諭、外部指導者)を招へいする			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	部活動指導者招へい事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	広尾高校の書道部、柔道部において外部指導者(地域人材等)の活用実績がある。				
進捗状況と課題	人材の発掘と確保について課題がある。【学校教育係】				

主な事業・取組	3. 地元企業や産業団体等と広尾高校とのパイプをつくる			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	地域職業座談会・進路探究推進講座による町内で働く方との意見交換、町内企業でのインターンシップの実施、総合的な探究の時間成果発表会でのインターンシップ体験発表。				
進捗状況と課題	今後も関係機関と連携し、町内企業に興味を持ってもらえるよう取組を継続していく必要がある。【学校教育係】				

主な事業・取組	4. 広尾高校町民応援体制をつくる			R6(2024)年度実績額	6,251千円
細事業名Ⅰ	広尾っ子応援団本部事業【再掲】	実	3-1-②-1	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動(メッセージ13通、発信12回)、放課後読書等ふれあい広場(60回実施)、学校支援(95回)				
進捗状況と課題	広尾高校の学校運営協議会は令和2年4月に設置済。令和3年度からは小・中学校と同様に「広尾っ子応援団本部」と連携して、地域で広尾高校を応援する環境整備を図っている。【社会教育係】				

主な事業・取組	5. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	広尾高校
細事業名Ⅱ	広尾町活き生きプロジェクト交付金(体験プログラム提供)	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)毎年2年生による町内事業所へのインターンシップを実施している。 (Ⅱ)未実施				
進捗状況と課題	(Ⅰ)インターンシップ等を通じて地元産業の体験学習を実施している。広尾地域学を創設し、地域と連携、地域に密着した学習活動を実施している。【広尾高校】 (Ⅱ)産業団体と連携を図り、各学校等へ情報提供等を実施する。【企画防災係】				

<継続的事業>					
主な事業・取組	1. 連携型中高一貫教育を推進する			R6(2024)年度実績額	5,830千円
細事業名Ⅰ	中高一貫教育連絡協議会運営事業	実	3-1-②-5	担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	教科・分掌の研究協議、中高授業交流、出前授業、部活動・生徒会交流、公開授業、学力調査、Web講座受講料補助、資格検定料補助、模擬試験料補助、部活動支援補助、外部講師講習助成など				
進捗状況と課題	学力向上や希望する進路の実現等、個々が輝ける中高一貫教育を推進していく。【学校教育係】				

主な事業・取組	2. 広尾高等学校への支援(サポート13)を継続する			R6(2024)年度実績額	16,138千円
細事業名Ⅰ	広尾高校入学者への支援事業	実		担当課	管理課
細事業名Ⅱ	広尾高校生徒遠距離通学費等助成事業	実	3-1-③-10	担当課	管理課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	資格検定料の補助、模擬試験料の全額補助、大手予備校講習費等補助、WEB講座受講料補助、カナダ国際交流費補助、給食の提供、通学費補助、下宿費等補助、スクールバスの運行、部活動補助、講師等人材補助、進学助成金など				
進捗状況と課題	町内・近隣町村在住の中学生を中心に継続したPRを実施する。【学校教育係】				

主な事業・取組	3. 広尾高等学校の存続活動を展開する			R6(2024)年度実績額	434千円
細事業名Ⅰ	北海道広尾高等学校存続対策協議会運営事業	実	3-1-③-9	担当課	管理課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	存続対策協議会(令和6年7月22日開催)、存続要請活動(令和6年8月9日実施、北海道教育委員会)、PR活動(チラシ、ポスター作成・配布)ほか				
進捗状況と課題	広尾高等学校の存続に向けて継続した活動を実施していく。【学校教育係】				

3. 施策の評価(担当課における評価)

I: 施策の達成度(まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか)

				記載者	
管社 企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画どおり各事業を実施できた。(管理課長) ・CSコーディネーターによる学校運営協議会への支援を予定通り実施できた。(社会教育課長) ・学校側へ積極的な働きかけができず、体験学習の充実を図ることができなかった。(企画課長) 		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

II: 施策の有効性(施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか)

				記載者	
管社 企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の推進、広尾高等学校への支援及び存続に向けた活動等、有効な取組を実施できた。(管理課長) ・「ひろお学」を始め、CSコーディネーターを活用した側面的な事業を展開できた。各学校の連携を維持して、求められる支援をさらに充実させることとする。(社会教育課長) ・学校活動として行う場合、学習指導要領に沿うことが求められるため、計画において意図した内容と合わないことがあり、検討段階から学校側と十分打合せを行う必要がある。また、学校外での体験活動は様々な主体が類似の事業を行っており、連携や情報共有を行うべきと感じている。(企画課長) 		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

3・1・3 高校教育への 支援と交流	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C	C	C	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	2	生涯学習と社会教育の推進
施策	①	生涯学習と社会教育の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	プロモーションビデオを製作した生涯学習サークルの数【累計】	目標値	団体	/	/	/	/	5	5	
			実績値	団体	0	0	0	0	0	0	
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	5	10	評価		c	c	c	c		
	2	生涯学習活動場所予約システムの導入	目標値	—	/	/	/	/	/	導入済	導入済
			実績値	—	未導入	未導入	未導入	未導入	未導入	0	
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	
	—	導入済	導入済	評価		c	c	c	e		
	3	総合型地域スポーツクラブの設立数【累計】	目標値	組織	/	/	/	/	/	設立準備	設立準備
			実績値	組織	0	0	0	0	0	0	
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	
	—	設立準備	1	評価		c	c	c	c		
4	趣味・教養学習講座「マイプラン」の開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	/	10	10	
		実績値	回	6	5	9	11	0			
現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	60.0	50.0	90.0	110.0	0.0		
6	10	10	評価		c	c	b	a			
5	大人の文化講座開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	/	5	5	
		実績値	回	0	2	4	1	0			
現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	40.0	80.0	20.0	0.0		
2	5	5	評価		c	c	b	c			
6	出前講座開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	/	450	450	
		実績値	回	295	285	244	296	0			
現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	65.6	63.3	54.2	65.8	0.0		
416	450	450	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	趣味・教養学習講座「マイプラン」への延べ参加者数【単年】	目標値	人	/	/	/	/	/	80	80
			実績値	人	31	41	181	104	0		
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	38.8	51.3	226.3	130.0	0.0	
	49	80	80	評価		c	c	a	a		
	2	大人の文化講座への延べ参加者数【単年】	目標値	人	/	/	/	/	/	50	50
			実績値	人	0	14	24	14	0		
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	28.0	48.0	28.0	0.0	
	19	50	50	評価		c	c	c	c		
	3	出前講座への延べ参加者数【単年】	目標値	人	/	/	/	/	/	7,000	7,000
			実績値	人	2,872	2,569	2,973	4,164	0		
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	41.0	36.7	42.5	59.5	0.0	
	6,783	7,000	7,000	評価		c	c	c	c		
4	図書館の合計貸し出し冊数(本館図書、移動文庫、団体貸出)【単年】	目標値	冊	/	/	/	/	/	31,000	31,000	
		実績値	冊	28,157	30,300	28,938	24,985	0			
現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	90.8	97.7	93.3	80.6	0.0		
30,951	31,000	31,000	評価		c	c	c	c			

指標				年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
成果 指標	5	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(5年生)における全国平均比(8種目の平均)【単年】		目標値	人					100	100
				実績値	人	100.5	95.5	99	101.1	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.5	95.5	99.0	101.1	0.0	0.0
	96.3	100	100	評価		a	c	b	a		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
活-2											
活-3			設立準備段階としてスポーツ事業開始		左記、継続中		左記、継続中				
活-4											
活-5	新型コロナにより未実施										
活-6	新型コロナにより実施回数減										
成-1											
成-2	新型コロナにより未実施										
成-3	新型コロナにより実施回数減										
成-4	本館図書館18,689冊 移動図書館1,824冊 移動文庫 3,210冊 団体貸出4,434冊		本館図書館21,570冊 移動図書館1,629冊 移動文庫 3,223冊 団体貸出3,878冊		本館図書館19,728冊 移動図書館1,641冊 移動文庫 3,241冊 団体貸出4,328冊		本館図書館16,321冊 移動図書館1,841冊 移動文庫 3,240冊 団体貸出3,583冊				
成-5											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分
a 目標達成に向け順調に進んでいる。
b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. サークル紹介用プロモーションビデオを製作する				R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	※未実施					
進捗状況と課題	各団体と協議し、PV製作の内容や発信方法について検討する。(令和7年度作成予定)【社会教育係】					

主な事業・取組	2. 未利用施設を有効活用して活動拠点を確保する				R6(2024)年度実績額	1,491千円
細事業名Ⅰ	社会教育学級等開催事業【再掲】	実	3-2-①-11	担当課	社会教育課	
細事業名Ⅱ	体力づくり事業	実	3-2-①-17	担当課	社会教育課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	子どもから高齢の方までが自主的に参加できる各種講座を開講して、学習の機会を提供した。					
進捗状況と課題	公共施設の空き部屋の活用について、利用状況の調査を進める。学校施設(体育館以外の教室等)においては、防犯や管理の面で課題があるため、学校側と協議を進める。【社会教育係】					

主な事業・取組	3. 生涯学習場所の予約システムを導入する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	予約システムは生涯学習場所のみではなく、他の公共施設への導入も検討しなければならないため、後期の計画見直しに併せてDXの項目と統合する。				

主な事業・取組	4. 総合型地域スポーツクラブを設立する			R6(2024)年度実績額	191千円
細事業名Ⅰ	総合型地域スポーツクラブ事業	実	3-2-①-16	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	設立準備目的での体験プログラムを実施した。計11回				
進捗状況と課題	令和5年度から1か月に1回程度、年11回のスポーツ体験会を開催した。今後も参加者数が増加するよう内容を工夫する。【社会教育係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 広尾っ子応援団本部事業を推進し、学校教育と社会教育の連携強化を図る			R6(2024)年度実績額	6,251千円
細事業名Ⅰ	広尾っ子応援団事業【再掲】	実	3-1-②-1	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動(メッセージ13通、発信12回)、放課後読書等ふれあい広場(60回実施)、学校支援(95回)				
進捗状況と課題	「ひろお学」の取組が始まり、地域人材・物的資源による行事が多くなっている。【社会教育係】				

主な事業・取組	2. すべての町民に幅広い学習機会を提供する			R6(2024)年度実績額	8,467千円
細事業名Ⅰ	社会教育学級等開催事業【再掲】	実	3-2-①-11	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	英語体験教室運営事業	実	3-2-①-12	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ	青少年健全育成事業	実	3-2-①-13	担当課	社会教育課
細事業名Ⅳ	体力づくり事業【再掲】	実	3-2-①-17	担当課	社会教育課
細事業名Ⅴ	スポーツ振興助成事業	実	3-2-①-21	担当課	社会教育課
細事業名Ⅵ	社会体育振興奨励事業	実	3-2-①-22	担当課	社会教育課
R6(2024)年度実施内容	子どもから高齢の方までが自主的に参加できる各種講座を開講して、学習の機会を提供した。また、スポーツ活動等を振興するため、各種助成事業を行った。				
進捗状況と課題	今後も引き続き、事業の周知・活用を推進していく。【社会教育係】				

主な事業・取組	3. 児童福祉会館(図書館)の機能の充実を図る			R6(2024)年度実績額	19,614千円
細事業名Ⅰ	図書館運営事業	実	3-2-①-14	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	図書館増設事業(R4~)	実	3-2-①-15	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	図書館運営事業では児童福祉会館玄関階段の滑り止め改修を行い、施設管理における安全性と利便性の向上を図った。また、図書購入により蔵書の充実を図るとともに、既存設備の保守点検等を行い、施設機能の維持に努めた。図書館増設事業としてR4年度に設計委託、R5年度に児童コーナーの拡充、童話ルームの新設を実施した。				
進捗状況と課題	図書館増設事業はR5年度の改修工事をもって完了。その他施設機能の充実については利用者のニーズや時代に沿った形で今後も検討していく必要がある。【図書館係】				

主な事業・取組	4. 体育施設の適切な維持管理を図る			R6(2024)年度実績額	39,494千円
細事業名Ⅰ	町民プール管理事業	実	3-2-①-18	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	パークゴルフ場管理事業	実	3-2-①-19	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ	体育施設維持管理事業	実	3-2-①-20	担当課	社会教育課
細事業名Ⅳ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	各体育施設の適切な維持管理を行った。シーサイドパークゴルフ場の芝張替を行い、施設の機能向上を図った。【社会教育課】				
進捗状況と課題	老朽化が進んでいるため、管理及び適切な改修を行っていく。【社会教育係】				

主な事業・取組	5. キャンプ場(野外活動施設)の計画期間中の再整備について方向性を定める			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※シーサイドパークキャンプ場については再整備断念との判断に至った。(令和5年12月8日施設廃止)				
進捗状況と課題	社会教育施設としてのキャンプ場の整備はしないため、計画後期の見直しに併せて項目を削除する。				

3. 施策の評価(担当課における評価)

Ⅰ: 施策の達成度(まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか)				記載者	社会教育課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由			
	B 想定どおりに進んでいる				
○	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ: 施策の有効性(施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか)				記載者	社会教育課長
	A 有効であった	評価理由			
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

社会生 教育 の 推 進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C	B	C	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)	未実施の事業が2つあり、KPIの達成状況も踏まえてC評価とする。	
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	2	生涯学習と社会教育の推進
施策	②	家庭教育の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	高齢者と子育て世代の交流の場の数【累計】	目標値	箇所					1	1	
			実績値	箇所	0	0	0	1	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	—	1	2	評価		c	c	c	b		
	2	家庭教育学級の開催回数【単年】	目標値	回						12	12
			実績値	回	1	1	4	2	0		
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	8.3	8.3	33.3	16.7	0.0	0.0	
10	12	12	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	家庭教育学級への延べ参加者数【単年】	目標値	人						170	170
			実績値	人	147	138	164	43	0		
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	86.5	81.2	96.5	25.3
	170	170	170	評価		c	c	b	d		
	2	全国学力・学習状況調査(6年生)における朝ごはんを毎日食べる子どもの割合	目標値	%						85	85
			実績値	%	75.5	70	79.3	96.5	0		
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	88.8	82.4	93.3	113.5
	80	85	90	評価		c	c	b	a		
	3	全国学力・学習状況調査(6年生)における家庭学習に取り組む1日の平均時間	目標値	時間						1.5	1.5
			実績値	時間	0.92	1.63	1.12	1.26	0		
現状(R1)			中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	61.3	108.7	74.7	84.0	0.0
1.27	1.5	1.5	評価		c	a	c	b			
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)						
活-1						少年将棋教室					
活-2	新型コロナの影響で減										
成-1											
成-2											
成-3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 「広尾っ子応援団」を活用し、家庭の教育力向上を図る			R6(2024)年度実績額	6,251千円
細事業名Ⅰ	広尾っ子応援団事業【再掲】	実	3-1-②-1	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動(メッセージ13通、発信12回)、放課後読書等ふれあい広場(60回実施)、学校支援(95回)				
進捗状況と課題	「ひろお学」の取組が始まり、地域人材・物的資源による行事が多くなっている。【社会教育係】				
主な事業・取組	2. 高齢者と子育て世代の交流の場を創出する			R6(2024)年度実績額	363千円
細事業名Ⅰ	青少年健全育成事業【再掲】	実	3-2-①-13	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	小中学生向け講座(少年将棋教室)の対象を、その保護者に拡充して参加をいただいた。				
進捗状況と課題	社会教育係が担当する事業(高齢者学級、少年学習講座等)の中で交流の場の創出を検討する。【社会教育係】				
＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 家庭教育学級を開催する			R6(2024)年度実績額	65千円
細事業名Ⅰ	家庭教育学級開催事業【再掲】	実	3-2-②-24	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	学級内容 「子供の承認欲求、ヤングケアラーと不登校」他1件				
進捗状況と課題	次年度以降も引き続き講座を開講していく予定である。【社会教育係】				
主な事業・取組	2. 早寝・早起き・朝ごはん運動(子育てメソッド)を展開する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	子育てメソッド事業(家庭教育学級開催事業)	実	3-2-②-24	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	1歳6か月検診時に保護者へリーフレット配付				
進捗状況と課題	コロナ禍明けから対面ではなく、リーフレット配布としている。【社会教育係】				
主な事業・取組	3. 子どもたちのインターネットや電子メディアの利用に関し、道教委や町内小中学校と連携し、望ましい生活習慣の形成に向けて対策に取り組む			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	関連リーフレットの配付				
進捗状況と課題	家庭教育学級での講座に取り入れることを検討する。【社会教育係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	社会教育課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	各学校における家庭教育学級の開講、保護者へのリーフレットの配布、そして放課後活動については計画どおり実施できた。(社会教育課長)	
○	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	社会教育課長
	A 有効であった	評価理由	「早寝早起きと朝ごはん」の重要性の理解や学習の習慣化は継続して行うことで効果が表れるので、引き続き内容等を工夫して、取組を行う。(社会教育課長)	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

家庭 教育の 充実	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C	C	B	B		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C	C	C	C		
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
	C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯 意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)	KPIも具体的な事業も昨年度と比較してそれほど進んでいないため、前年と同じC評価とする。	
	R6(2024)	成果指標に改善がみられるが、家庭教育学級への参加者が大幅に減っており、具体的事業も前年とほぼ同様であるため、C評価とする。	
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	2	生涯学習と社会教育の推進
施策	③	芸術文化の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	プロモーションビデオを制作した文化サークルの数【累計】	目標値	団体					10	10	
			実績値	団体	0	0	0	0	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	10	15	評価		C	C	C	C		
	2	新しい文化活動のアンケート調査の実施	目標値	回						毎年実施	毎年実施
			実績値	回	1	4	4	2	0		
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—		
—	毎年実施	毎年実施	評価		a	a	a	a			
成果 指標	1	芸術祭入場者数【単年】	目標値	人					630	630	
			実績値	人	0	534	494	555	0		
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	84.8	78.4	88.1
	629	630	630	評価		C	C	C	C		
	2	文化・社会教育サークル数	目標値	団体						32	32
			実績値	団体	32	32	33	33	0		
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	100.0	100.0	103.1	103.1
	32	32	32	評価		a	a	a	a		
	3	文化協会加盟団体会員数	目標値	人						270	270
			実績値	人	227	240	223	218	0		
現状(R1)			中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	84.1	88.9	82.6	80.7	0.0
270	270	270	評価		C	C	C	C			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
活-2			各種行事の際にアンケートを実施し、参考資料とした(4件)		各種行事の際にアンケートを実施し、参考資料とした(4件)		各種行事の際にアンケートを実施し、参考資料とした(2件)				
成-1	新型コロナで中止										
成-2											
成-3	17団体		18団体		18団体		18団体3個人				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 多様な芸術鑑賞機会を確保する			R6(2024)年度実績額	946千円
細事業名Ⅰ	文化・芸術鑑賞事業	実	3-2-③-25	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	地域文化協会支援事業	実	3-2-③-26	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)第61回公演 京都大学交響楽団 演奏会(来場者243名) 追加公演 映画「おしゃべりな写真館」上映会(来場者110名) (Ⅱ)各文化協会へ活動振興のための助成を行った。				
進捗状況と課題	町民ニーズを分析し、実施内容を検討していく必要がある。幅広いジャンルから多様な公演を行うようにする。【社会教育係】				

主な事業・取組	2. 文化団体紹介用プロモーションビデオを製作する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	各団体と協議し、PV製作の内容や発信方法について検討する。(令和7年度作成予定)【社会教育係】				

主な事業・取組	3. 新しい文化活動を創造する			R6(2024)年度実績額	589千円
細事業名Ⅰ	社会教育学級等開催事業【再掲】	実	3-2-①-11	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	子どもから高齢の方までが自主的に参加できる各種講座を開講して、学習の機会を提供した。				
進捗状況と課題	今後も引き続き、事業の周知・活用を推進していく。【社会教育係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 児童福祉会館の機能を充実させる(ステージ照明・音響設備など)			R6(2024)年度実績額	19,614千円
細事業名Ⅰ	図書館運営事業	実	3-2-①-14	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	ステージ照明・音響設備などの更新は機器更新は実施せず。例年どおり既存設備の保守点検等を実施し、機能の維持に努めた。				
進捗状況と課題	現状の設備についてステージ幕など劣化の進んだ部位の更新にあたり、どの程度機能を向上させるか、利用団体の意見も取り入れながら検討する。また、必要であれば生涯学習センター建設用基金の使用も検討。【図書館係】				

主な事業・取組	2. 新しい文化活動をリサーチするためのアンケート調査を行う			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	各種講座においてアンケートを実施し、ニーズの把握を行った。				
進捗状況と課題	令和3年度に実施したアンケートを始め、町民向けの文化講座を開催して求められる分野の把握を行った。各種講座においてそれぞれの内容に関するアンケートを実施し反映に努めている。【社会教育係】				

主な事業・取組	3. 新規講座の開設に向けて取り組む			R6(2024)年度実績額	589千円
細事業名Ⅰ	社会教育学級等開催事業【再掲】	実	3-2-①-11	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	趣味・教養学習講座「マイプラン」では、毎年多種多様な講座が実施されている。				
進捗状況と課題	令和3年度に実施したアンケートを始め、町民向けの文化講座を開催して求められる分野の把握を行った。各種講座においてそれぞれの内容に関するアンケートを実施し反映に努めている。【社会教育係】				

主な事業・取組	4. 親子で文化活動に触れあえる機会を提供する			R6(2024)年度実績額	1,705千円
細事業名Ⅰ	文化・芸術鑑賞事業【再掲】	実	3-2-③-25	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ	地域文化協会支援事業【再掲】	実	3-2-③-26	担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ	文化振興助成事業	実	3-2-③-28	担当課	社会教育課
細事業名Ⅳ	広尾サンタランド・ジャズスクール運営補助事業	実	3-2-③-29	担当課	社会教育課
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)第61回公演 京都大学交響楽団 演奏会(来場者243名) 追加公演 映画「おしゃべりな写真館」上映会(来場者110名) (Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)文化協会等へ活動振興のための助成を行った。				
進捗状況と課題	既存の団体と連携して、親子で参加できる体験活動等を検討する。【社会教育係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者	社会教育課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	会員が高齢化する中、各活動を継続出来ている。また、1年間の集大成である町文化協会の芸術祭を実施し、町民へ芸術鑑賞の機会を提供を行うこともできた。また、各団体では担い手確保のため、独自に体験会を行うなど、知識・技術の継承に尽力しているが、参加者の増加にはつながっていない。	
	B 想定どおりに進んでいる			
○	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者	社会教育課長
	A 有効であった	評価理由	様々な場面で芸術文化に親しんでもらえる工夫が必要である。そのためには、各団体・サークルの日常の活動を強化すること、その成果を発信する2点が重要であるため、今後も定期的に町民が芸術・文化に触れる機会の提供を行っていく。	
○	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

芸術文化の振興	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C	C	C	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	3	豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
政策	2	生涯学習と社会教育の推進
施策	④	文化財の保存、継承

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	広尾町検定の導入	目標値	—					導入済	導入済	
			実績値	—	未導入	未導入	未導入	未導入		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—		
	—	導入済	導入済	評価		c	c	c	e		
	2	広尾の歴史「語り部」保存事業の実施回数【単年】	目標値	回						1	1
			実績値	回	0	0	0	0	0	0	0
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	1	1	評価		c	c	c	c		
	3	出前博物館の開催回数【単年】	目標値	回						1	1
			実績値	回	0	0	1	1	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
	—	1	1	評価		c	c	a	a		
	4	博物館応援ボランティアの組織数【累計】	目標値	組織						1	1
			実績値	組織	0	0	0	0	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
—	1	1	評価		c	c	c	c			
5	広尾の文化財の情報発信回数【単年】	目標値	回						6	6	
		実績値	回	0	0	0	1	0	0		
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0		
—	6	6	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	海洋博物館・伝習館年間入場者数【単年】	目標値	人					1,000	1,000	
			実績値	人	1,143	1,250	1,501	1,332	0		
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	114.3	125.0	150.1	133.2	0.0	
	696	1,000	2,000	評価		a	a	a	a		
	2	広尾町検定の受験者数【累計】	目標値	団体						50	50
			実績値	団体	0	0	0	0	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	50	100	評価		c	c	c	e		
	3	博物館応援ボランティアの会員数	目標値	人						3.0	3.0
			実績値	人	0	0	0	0	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
—	3	5	評価		c	c	c	c			
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)						
活-1											
活-2											
活-3			坂本直行氏の作品展示	坂本直行氏の作品展示							
活-4											
活-5				町ホームページ							
成-1											
成-2											
成-3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 「広尾町検定」を導入する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	現状の体制では実施できないことから、計画の後期見直しで事業から削除するが、現在学校で行われている地域学の復習に利用できるような資料の提供や博物館でのクイズラリーを通して町の歴史や産業への関心を高められるよう努めることとしたい。【社会教育係】				
主な事業・取組	2. 広尾の歴史「語り部」保存事業を行う			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	既存の歴史研究団体とも協議を行い、あり方について検討する。(令和7年度実施予定)【社会教育係】				
主な事業・取組	3. 出前博物館を開催する			R6(2024)年度実績額	5,134千円
細事業名Ⅰ	博物館・伝習館運営事業	実	3-2-④-31	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	「日高山脈襟裳十勝国立公園」指定記念 山岳画家 坂本 直行氏 絵画展 場所 役場1階ロビー 期間 7/8～7/30 観覧者数34名				
進捗状況と課題	展示物の搬出には収蔵品を損傷させないよう専門的な知識・技術が求められるため、実施内容の検討を引き続き行う。【社会教育係】				
主な事業・取組	4. 博物館応援ボランティアを育成する			R6(2024)年度実績額	5,134千円
細事業名Ⅰ	博物館・伝習館運営事業【再掲】	実	3-2-④-31	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	歴史研究団体等と連携を図りながら検討する。【社会教育係】				

＜継続的事業＞					
主な事業・取組	1. クイズラリーなど博物館イベントの充実を図る			R6(2024)年度実績額	5,134千円
細事業名Ⅰ	博物館・伝習館運営事業【再掲】	実	3-2-④-31	担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	イベント「謎とき博物館」を町内小中学校の夏季休業期間に開催し、577名の来場があった。				
進捗状況と課題	次年度以降も同内容のイベントを引き続き行い、知名度向上を図ることとする。【社会教育係】				

主な事業・取組	2. あらゆる媒体を活用し、広尾の文化財の情報発信を行う			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	リーフレットの配付、ホームページへの掲載等に取り組んだ(通年)。				
進捗状況と課題	既存のツールも用いて、引き続き情報発信を行う。【社会教育係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	社会教育課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	各種文化財については、博物館・伝習館に収蔵されているほか、書籍・リーフレット・町HP等で誰でも閲覧することができる状態となっている。順次、文化財標柱の更新を行ったり、小規模ではあるが出前博物館を実施した。しかし、一部未実施の事業がある。(社会教育課長)		
	B 想定どおりに進んでいる				
○	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	社会教育課長
	A 有効であった	評価理由	博物館・伝習館の活用は文化財の保存・継承に重要であるため、施設の維持管理や町内小中学生の来館を促す取組に注力している。その他、引き続き既存のツールを活用して、町の文化について普及啓発を行うこととする。(社会教育課長)		
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
保存、継承 の 3・2・4	一次評価（担当課の評価）					
		C	C	C	C	
	二次評価（主管者会議の評価）					
		C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
		C	C	C	C	

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		